



# ロータリーは世界をつなぐ ROTARY CONNECTS THE WORLD

2019-20年度 RI会長／マーク・ダニエル・マローニー

RI.D2590ガバナー／轟 淳次

横浜旭RC会長／佐藤 真吾

国際ロータリー第2590地区

## 横浜旭ロータリークラブ

事務所 横浜市旭区二俣川1-37-3 NUTS1階／〒241-0821  
TEL.045-465-6702／FAX.045-465-6712  
http://yokohamaasahirc.cho88.com

Email: asahirc@titan.ocn.ne.jp

例会場 横浜市旭区二俣川1-45-30工藤ビル  
(株岡田屋 3階会議室)

例会日 毎週水曜日／12時30分～1時30分



被災地の子ども達にXマスプレゼント



在日外国人日本語学習支援



チャリティーコンサート

2019年7月17日 第2391回例会 VOL. 51 No. 3

■司 会 副SAA 市川 慎二

■開会点鐘 会 長 佐藤 真吾

■斉 唱 我等の生業

会員数	22名	本日の出席数	24名
本日の出席率	91.67%	修正出席率	100%

■本日の欠席者

宋、福村

■他クラブ出席者

新川 (地区)

■7月皆出席者表彰



五十嵐 正会員 26年

新川 尚会員 16年

柳沢 哲也会員 1年

■会長報告

久しぶりに晴れ間がのぞいています。先週の例会日もちょうど晴れだったので旭ロータリーは晴れ男の集まりなのかもしれません。

ただこの所の不安定な天気は思ったより

深刻のようです。気象庁によると、オホーツク海にある高気圧の影響などで東日本の太平洋側を中心に冷たい空気が流れ込んで曇りや雨の日が続き、平年より気温が低い、いわゆる「梅雨寒(つゆざむ)」となっているようです。

東京の都心では、日照時間が3時間未満の日が昨日で20日連続となり、日本気象協会によると、31年前の昭和63年の17日連続を超え、統計を取り始めてから最も長くなっているとの事。全国的に農作物などに影響が出ているようです。

会員の皆様におかれましては体調管理には十分ご注意くださいと思います。

ところで今日は昭和の大スター石原裕次郎さんの三十三回忌です。1950年代後半～1960年代は日活映画の大看板スターで、70年代以降は「石原プロモーション」社長として数々の映画やテレビドラマの制作を手掛けられました。

私の父は大の裕次郎ファンで、母曰く、20代の頃は「ハマの裕次郎」と言われていたとか。長男の一志が生まれたのが裕次郎さんと同じ12月28日で、「裕次郎と同じ誕生日だ」と喜んでいたので覚えています。その石原裕次郎さんの三十三回忌にあわせ、石原プロモーション監修の書籍「石原裕次郎昭和太陽伝」が発売されるとの事ですが、その著者が娯楽映画研究の第一人者である佐藤利明さん、同姓同名です。息子として、私の父と石原裕次郎さ

んに少なからず縁を感じてしまいます。記念に買ってプレゼントしたいと思います。内輪の話ですみません。

#### ○地区関係

1) 2019-20 年度クラブ基盤管理セミナー PART I (クラブ奉仕・広報・研修・規定審議会)

日時 7月18日(木) 15:00～17:30

場所 メモワールプラザソシア 21

佐藤真と北澤クラブ管理運営委員長で出席して参ります。北澤委員長よろしくお願ひします。

2) 第1回第5グループ会長幹事会

日時 7月18日(木) 18:30～

場所 横浜ベイシェラトンホテル&タワーズ

佐藤真と大川幹事で出席して参ります。

#### ○クラブ関係

1) 先週7月11日(木)に、岩沼 RC 渡辺さんが来訪されました。

当日は今後の震災支援について意見交換させていただきました。詳しい報告は後ほど五十嵐災害対策委員長からあると思いますが、震災から8年が経って今感じる事は、この岩沼 RC との縁を大切にしたいという事です。

直接的に支援や協力をする事はだんだんと少なくなっていますが、岩沼 RC の皆様と「好意と友情」を深めながら、次のステップとしては、「風化防止」に取り組んでいきたいと考えています。

2) 今日の卓話は、増田前第5グループガバナ補佐です。よろしくお願ひします。

#### ■幹事報告

1) 例会終了後、臨時理事会を行います。

2) タウンニュースのご紹介

1面トップに当クラブの災害支援基金の開設のニュース、中開真ん中に RC の新人事、3面の人物風土記には佐藤真吾会長のニュースが掲載されております。ぜひご覧ください。

#### ■2590 地区より被災地救済支援チャリティーゴルフ大会のご案内

日時 9月17日(火)

場所 湘南カントリークラブ

茅ヶ崎市赤羽 4123 TEL 0467-51-0616

参加費 12,000 円

申し込み先 川崎北ロータリークラブ内

チャリティーゴルフ委員会

問合せ 事務局 TEL 044-722-8037

申込締切 8月9日(金)

多くの皆様のご参加をお待ちしております。

#### ■災害対策委員会

五十嵐 正

日時 7月11日(木)

出席者/渡辺(岩沼 RC)、二宮登、増田、安藤、新川、佐藤真、北澤、五十嵐

1) 岩沼 RC との共同企画、クリスマスサンタ事業について。

資金的な支援は今後見送る。但し、岩沼 RC は事業として定着、会員の要望もあり継続して活動は続ける。旭 RC 中にも参加経験者から惜しむ声もあることから、委員会としては、今後も参加の呼びかけは行うこととする。

2) 今後サンタに代わる震災風化防止事業として、語り部を招聘し、高校への出前授業を企画する。さしあたり、今期はチャリティーコンサート部会が、名取高校のバンド招聘、その際語り部もお招きすることから、コンサートの前後いずれかの日に語り部を高校に派遣し出前授業を行う。その費用は、今回クリスマスプレゼント用に用意してあった資金を利用する。

3) クラブ間災害支援ネットワークの構築方法について

今回のクラブ災害支援基金についての報告記事を「友」に投稿し、クラブ HP のアドレス及び QR コードを添付し、基金の有効利用方法のアドバイスをお願いする形で誌面で呼び掛けし、情報交流をすることから始める。

4) 毎月災害対策委員が持ち回りで災害に関する話題を提供する。

#### ○災害に関する話題として

皆さんは陸前高田の「奇跡の一本松」の話題ご存じだと思います。岩手県陸前高田の高田松原として350年にわたり植林されてきた約7万本の松の残された1本です。この「奇跡の一本松」の話題からどんなイメージをお持ちでしょうか？

その後の報道などで、松が身を挺して町を守ってくれたとの印象ではなかったでしょうか。ここで視点を変えてみますと、実は1本しか残らなかった、防風林としては機能していたかも知れませんが、防災林の役目は果たせなかったこととなります。

東日本の際、松は巨大津波にのまれ、実は凶器として住宅に襲いかかりました。津波は砂と泥の塊です。そこに根こそぎ抜けた松が凶器となって住宅や人々を襲いました。むしろ松が無かった所の方が住宅は残っている。

ではどうするのか、いろいろな議論がなされていますが、ここで世界文化遺産の美保の松原はご存じと思いますが、南海トラフトを想定する際、防災を考えれば危険なことは分かります。歴史的景観になっている松を伐採できるかどうかは、人命と郷愁を天秤にかけた覚悟の問題となっているそうです。



### ■ 5分間情報

吉原 則光

「ロータリーの友」7月号から

○横書き

P. 3 「友の読み方」購読→講読→好読→愛読へ

P. 21 ガバナーの横顔

年度当初で全地区ガバナーの顔見せ、人物像が興味深く読めます。特にわが2590地区轟ガバナーのプロフィールは一読の価値大です。ガバナーに尋ねました、自分を生き物に例えるという質問には「年老いたライオン」とは、面白いですね。(P. 27)

P. 43 2020年10月に「ロータリー日本100年史」発刊予定と。わが旭RCも50年史です。「ロータリー100年史から、わがロータリーの50年史あり」です。

○縦書き

P. 9 新企画「この人たずねて」が期待されます。

又、会報との関連について、先週佐藤利明会報担当リーダー提案の投稿に参考になる友の記事は

- ・私の一冊                      タテ P. 18
- ・声                                タテ P. 30
- ・私の宝物                      タテ P. 15
- ・友愛の広場                    タテ P. 13
- ・パズル de ロータリー      ヨコ P. 54
- ・詰め将棋                      ヨコ P. 54

などがありますので、是非ご活用を。

### ■ ニコニコ BOX (会員敬称略)

佐藤 真吾／増田さん、一年間ご苦勞様でした。ガバナー補佐を終えての卓話宜しくお願

いします。

大川 伸一／増田さん、1年間大変ご苦勞様でした。本日の卓話を楽しみにしております。

五十嵐 正／①増田さん、一年間ご苦勞様でした。本日の卓話、楽しみにしております。

②皆出席祝いを頂き有り難うございます。

新川 尚／皆勤賞ありがとうございます。

吉原 則光／増田ガバナー補佐の重責、ごくろうさんでした。卓話楽しみです。よろしくお願ひします。

増田嘉一郎／卓話を久々に担当します。つまらない話ですが、宜しくお願ひします。

市川 慎二／増田さん、卓話宜しくお願ひ致します。前年度は大変お世話になりました。

安藤 公一／増田さん、一年間のガバナー補佐お疲れ様でした。本日の卓話宜しくお願ひします。

北澤 正浩／①増田さん、卓話宜しくお願ひ致します。②ジャズまつりが近づいてまいりました。来週までチケットを販売致します。よろしくお願ひ致します。

岡田 隆／先週はたくさんのお歓迎メッセージありがとうございました。

柳沢 哲也／皆出席祝いをありがとうございます。入会して一年、初めてSAの席に座りました。こちらからの景色もいいもんですね！

内田 敏／岡田さん、入会ありがとうございます。これからよろしくお願ひ致します。

佐藤 利明／増田ガバナー補佐、一年間の重責ご苦勞さまでした。今日は久しぶりのニコニコ担当です。

### ■ 卓話「ガバナー補佐を終えて」

増田嘉一郎



#### 1) ガバナー補佐

2018-19年度国際ロータリー第2590地区(読み方は、いずれでも可) ガバナー補佐の任務

を終えた。手続要覧（2013年版）によると、ガバナー補佐というのは、地区レベルでの任務を遂行し、指定されたクラブの管理運営に関し、ガバナーを補佐する役割とある。その選出の最低基準というのがあり、私がそれを満たすかは別として、私が当クラブで選ばれた経緯は、就任の1年半前の平成28年10月、青木年度の岩沼RCの50周年記念行事に参加したときに始まった。式典を終え、懇親会でのこと、1人の会員が動き回っていた。突然ガバナー補佐をやるかを問われ、条件次第ではと答えた。彼は次に私のところに来た時に、ガバナー補佐の候補に決ったと言った。軽く受け流していたが、その後青木年度の後半にはクラブ内では確定したかの話が伝わり、滝澤会長エレクトにも既成事実のように伝わっていた。当クラブで過去のガバナー補佐がどのように決ったか知らないが、確かに岩沼へは会長経験者が5、6人行っていたと思うが、私の場合はこんな感じで決まった。

しかし、当クラブでは、ガバナー補佐の候補者をどのようにして地区へ届出するのか分からず、手続は特に取られなかった。多分、平成29年9月の第5G会長幹事会で滝澤会長が鶴岡ガバナー補佐に問い合わせ、鶴岡ガバナー補佐から、金子ガバナーエレクトに連絡がいき、10月の例会後の理事会で審議された。その理事会前の例会に、金子ガバナーエレクトと千田次年度地区幹事がお見えになっていた。やはり10月では遅すぎ、金子ガバナーエレクトもしびれを切らしていたのではと思われる。ガバナー補佐は、ガバナーエレクトが地区の諮問会議に諮って決定される。当クラブでは、グループ内のガバナー補佐の順番が来たときに、候補を出してきているが、グループによっては、伝統的にガバナーエレクトの指名でガバナー補佐が決ってきているグループもあり、また時には順番クラブからの候補と、ガバナーエレクトからの指名の候補と2人出たようなこともあったかに聞いている。手続が遅れると、ガバナーエレクトが指名する可能性もあるので、今度順番でガバナー補佐候補を出すときには、決まり次第、なるべく早くガバナーエレクトへ届出することをお勧めする。

## 2) 時間的負担

平成29年12月12日、ガバナー補佐の第1回研修が行われた。以来令和元年6月30日まで、ガバナー補佐としての仕事が続いた。時

間的には、各クラブ訪問8回（自クラブも入れて、公式訪問、クラブ協議会も入れて）、G（グループ）会長幹事会6回、地区ガバナー補佐連絡会（7月の地区役員・ガバナー補佐・地区委員長全体会議を含めて）計11回（1回休会）。クラブ委員長会議8回、地区大会実行委員会8回、これで合計81回となる。クラブ研修・協議会のサブリーダーとして、その打合せ会にも出席しており、他にも出席した会議があったかもしれない。1年365日を割ると、少なくとも4.5日に1回である。これを多いとみるかであるが、これ位は前年度のスケジュール表をみて、予想していた。これら例会や会議が夕方迄に終ると、事務所に行って仕事をしていた。田園都市線の沿線の会合は、急行で表参道まで行き、銀座線で新橋へ出る。新横浜の会合は、事務所との行き帰りに、新幹線を使っていた。しかし、第5グループが11クラブとなった場合、ガバナー補佐の負担は、倍増しそうである。

## 3) 第5G完全統合

ガバナーは地区改革に取り組んでおり、第5北Gでは、2019-20年度の第5南Gとの完成統合を控えての準備があった。各クラブにとって負担の重いガバナー補佐と青少年交換留学生のホストクラブの選出をどうするかが重い課題となった。これ迄第5北Gでは、ガバナー補佐も青少年交換ホストクラブも順番を決めて、それに従って各クラブは受持ってきた。第5南Gでは、ガバナー補佐はガバナーエレクトの指名で決まり、青少年交換留学生のホストクラブは順番を決めて回していた。6月に当クラブで年度末の御礼の挨拶をした際にその経過はお話したが、本当に苦労して、ガバナー補佐も青少年交換も次年度だけではなく、その後も含めた新たな順番制度の全クラブの合意を取り付けたのである。

しかしながら新年度に入るや、いやな話が耳に入ってくる。地区改革の必要性から、吉田ガバナーエレクトの希望で、今月中に次年度のガバナー補佐を決めることになっていた。横浜瀬谷RCの次は、横浜南陵RCである。第5南Gの横浜南陵RC出身の下山ガバナー補佐と、次は横浜南陵RCと決めた際、下山ガバナー補佐の話では、同クラブには候補が2、3人いるとのことだったのだが、結局次年度第5Gガバナー補佐は下山ガバナー補佐の再度の登板に決ったとのことである。やはり第5G

が11クラブとなった場合の負担増を考え、候補者は尻ごみをしたようである。順番制度を決めはしたが、該当クラブで、11クラブを担当できる候補者を出せるかは、難しい問題となるようである。

また、青少年交換留学生は、今年度をもって一旦中断することになったとのことである。今年度青少年交換の相手国が、グループが1つ減ったことに伴い7か国となったが、1か国減ったことにより地区の経費負担が200万円削減されたという。それが切掛けとなったかは分からないが、改めてこの制度の経費を見直し、再開を検討するとのことである。この結果、次年度青少年交換留学生のホストクラブを新横浜RCにお願いしていたが、見送りとなってしまった。やはり会員の減少は、地区の財政を圧迫し、財政改革をも必要とする。青少年交換留学生の制度は、財政面から見直しということになったようである。

話は変わるが、ガバナー事務所の移転問題も起きているという。古い会員は、ガバナー事務所がガバナーの事業所の一面に設けられて、毎年度ガバナーの事業所に移転していたのを覚えられているであろう。金杉PGが、今のガバナー事務所を提供されてからは、同じビルに定着していた。しかし、金杉PGの企業の経営方針が変わり、ガバナー事務所の移転を求めてきたとのことである。移転に伴い、地区では新たな支出が見込まれるのである。この点からも地区財政も抜本的見直しが必要となっているようである。

#### 4) 公式訪問

会員とガバナーが接する機会が、ガバナーの公式訪問である。これも昔は多分、ガバナー補佐を分区代理といっていた時代であろうが、ガバナーの公式訪問時にクラブ協議会が開かれていたという記憶である。今は、原則としてガバナーの公式訪問2週間前にクラブ協議会が開かれ、ガバナー補佐が出席しクラブ計画書をもとにクラブとの意見交換をし、その結果をガバナーに報告している。ガバナーは公式訪問の前に、クラブの計画書とガバナー補佐の報告書を読んで、公式訪問に挑んでいる。ガバナー補佐にとって、この準備が大変であり、重要である。6月の末位になると、各クラブから計画書が送られてくる。他方ガバナー事務所からクラブ協議会の報告書書式が送られてくる。この書式に従って、届いた

順に計画書を読んで、報告書に書き込んでいく。各委員会の活動計画で気がついたことを記載し、最後にまとめとして、①RI会長テーマ、ガバナー方針が具体化されているか、②2016年版規定審議会の改正に基づく細則改正が終っているか、③戦略委員会が設けられているか、④委員会活動での特記事項、⑤例会の雰囲気、⑥総評と整理して原稿として記載しておく。クラブ協議会では、講評などということはおこがましいので、その原稿を完成させる準備として、各委員長や会長に質問をしていった。横浜旭RCの計画書をも、自分の関係していなかった委員会のことは、意外と分かっていなかった。クラブ協議会を終えて事務所に戻って、その日の内に原稿を完成させて、ガバナー事務所へメールで発信し、押印したものを翌日に郵送していた。クラブからのガバナーへの意見、要望については、各クラブ示し合わせたかのようにガバナー補佐経験者からの質問が多くでた。いずれも一応の解答は示したが、ガバナーへの報告書にも記載し、報告をしておいた。

ガバナーは、公式訪問の日、各クラブに11時30分にお見えになる。ところが、当グループ1番初めのクラブである横浜瀬谷RCには、11時過ぎにお見えになった。以後トラウマとなり、11時にお見えになってもいいように待機していたが、結局他のクラブは、予定どおり11時半頃お見えになった。クラブにお見えになると、最初にガバナー補佐の報告書に基づき、ガバナーからガバナー補佐へ質問がある。その後会長・幹事との面談になる。ガバナーは年間活動計画を講評され、会長・幹事との意見交換となるが、例会での卓話を含め、そこで話される内容は、地区改革の必要性につきるものであった。例会でも、予定されたRI会長テーマやガバナー方針のパワーポイントを使わずに、地区改革の必要性を訴えられたのであった。当クラブの週報では、ガバナーの発言を録音して再現しているので、地区の現状、改革の必要性を再認識するために、改めて目を通していただければと思う。

また、実際に地区の組織や運営方法を変更するには、ガバナーだけでは決められず、PG16人がいる諮問会議での承認が必要となるため、改革の実行が予定された日程の直前になるなど、多少混乱を招いたが、金子ガバナーは、具体的に地区改革の実行に着手されていっ

た。多少なりともその改革のお手伝いできたことは誇りといえよう。

#### 5) クラブ紹介

苦勞したガバナー補佐の仕事の話が続けていても、皆さんには面白い話でもないので、多少興味をもってもらえる話として、第5北グループのクラブを紹介することにしたい。

各クラブには、昨年3月のガバナー補佐就任前の引継挨拶から、今年6月の年度末の挨拶まで、クラブ協議会、公式訪問を含めて各8回訪問しており、私の見たクラブの紹介である。

##### (1) 横浜瀬谷 RC

瀬谷 RC のことは、私よりも齋藤善孝さんの方が詳しいかもしれない。瀬谷 RC の例会を訪問すると、齋藤さんとは良くお目にかかった。例会場は、ニツ橋の e モールという商業ビルである。第5北グループのクラブの例会場の駅からの距離は、横浜あざみ RC と同じ位か、徒歩で10分から15分かかる。食事は、当クラブと同様にお弁当であるが、例会場の隣に喫茶店があり、そこからコーヒーをポットで取っている。また e モールの商店用のゴミ捨場にお弁当の空箱を捨てられるので、障害者施設からのお弁当も取り続けている。例会のプログラムは、クラブ協議会（第18回）やクラブフォーラム（7回）が入っており、他方卓話は年間7回である。前年度1度も卓話を聞いた記憶がない。伝統的のこのようなプログラム構成となっているとのことであり、クラブ運営の1つの考え方であろうが、メーカーキャップする方にとっては、メーカーキャップの楽しみの1つ、卓話がないことになる。クラブ計画書では、地区の活動を重視しており、地区委員会の出向者は計画書に自らの活動計画を掲載しており、出向者6名へ計15万円が助成されている。月1回若手会員対象の研修が、会長経験者らを講師に例会前に行われており、出席した若手会員は例会時にその結果を報告している。週報への原稿は、メールで提出することになっている。

R 財団の年次寄附、ポリオ、米山寄附はクラブ負担であり、その他にインターアクト基金が設けられ、毎月1回集金している。このクラブは、昭和40年代、50年代生まれの若い会員が続々と入会し、クラブの要職を担ってきている。前年度入会者は、お勤めの方の入れ替わりを含めて5名である。年度末退会

者が1名でたということであるから、純増3名であろう。うらやましい限りである。

##### (2) 横浜緑 RC

例会場は、青葉台の青葉台フォーラムというホテルで、横浜田園 RC と同一会場である。同じ週は、横浜田園 RC と同じ献立となっているので、できる限り訪問する週を変えていたが、1度クラブ協議会とガバナーの公式訪問が日程調整がつかず、同じ週となり、同じ献立の食事をとった。各種の奉仕活動に熱心に取り組んでおり、西日本豪雨の際は、広島北 RC への義捐金を直接届けている。現在災害支援基金設立を決め、準備中とのことである。香港南 RC と姉妹クラブとなり、共同で中国僻地でのハンセン病患者支援を行ってきっていたが、支援活動が一段落し、同クラブとは、友好クラブとしての交友を続けることになった。フィリピンへの古着支援活動も毎年行っており、これは、毎年持参し、必要とする人達に直接手渡している。ここの週報は、電磁記録で、インターネットで配信されている。スライドショーで多数の写真を紹介している。

1990-91 年度桐蔭学園の鶴川昇ガバナーを出し、当時これに反発した会員が多数退会したという話も聞いたが、それを上回る入会者を集めたということも伝わっている。今回、第5北 G は第5南 G と完全統合されたが、新横浜 RC、横浜あざみ RC、横浜南央 RC がいずれも鶴川年度に創立しており、改めて鶴川 PG の行動力に驚かされた。

私の前任者鶴岡武ガバナー補佐も横浜緑 RC の所属で、会員に経営研修会を開催する等と同クラブを支える人であったが、ガバナー補佐就任の直前に体調を壊し、医者通いをしている内に回復し、無事任務を終えられた。例会に訪れた時には、温かく迎えていただいたが、5月頃から再び体調が悪化し入院中とのことで、退会届が出されたということであった。再び元気になられることと、退会が慰留されることを切に願っていることを、年度末の挨拶の際に伝えておいた。

(3) 横浜田園 RC このクラブの会長にまず最初に言われたことは、RC は奉仕団体として自らの意思で活動しているのであるから、地区の上意下達の指示には抵抗感を示す会員が多いとのことである。このクラブは、会員に、何といたってもお勤めの方が多い。終結した横浜多摩 RC から移ってきた人も含めてである

が、7人いた。

当クラブ会員増強の参考のために会社名を紹介すると、銀行が(株)横浜銀行たまプラーザ支店、みずほ銀行(株)あざみ野支店、三井住友信託銀行(株)青葉台支店、証券会社が(株)野村証券青葉台支店、みずほ証券(株)たまプラーザ支店、生命保険がプルデンシャル生命保険(株)、それに東京急行電鉄(株)不動産活用センターである。野村証券は支店統合のため横浜田園 RC の支店長は退会し、横浜あざみ RC の支店長が残るようであるが、それでも6人である。前年度 R 財団、米山の寄附がベネファクターを含めて目標額がグループ内で1番早く完納された。このクラブは、R 財団の年次寄附、ポリオ、米山の特別寄附は、会費からは支出されていない。他のクラブのお勤めの方からは、会費とは別にこれら寄附を会社から支出するのは難しいので、会費の中に含めて欲しいという意見を聞くこともあったため、皆さん対応が大変ではとっていた。週報をみていたら、クラブは会員別に口座を設け、会員は自分の資金の都合でクラブへ入金し、時期がきたら、クラブの方で目標額を納入し、未払額がある会員は、年度末までにクラブへ納入するというシステムのようなものである。地区の上意下達には抵抗感をもつ会員がいるとは言いながら、やるべきことはやるという精神に敬服する次第である。

そして独自の奨学金制度をもつ。YDRS（横浜田園ロータリークラブ奨学会）という名称で、東日本大震災を機に、日本人学生を対象に設立された。これまでのところ地元長津田にある東京工業大学大学院の学生が、毎年2名が各年額20万円の奨学金を受けている。

中学校2校で職業を語る会を開設しており、また駅の近くでバラ園を管理する。お勤めの方が多くあるだろうし、他方で会員の高齢化も進んでいるため、毎年会長の成り手がなく、最近2度目の会長が続いているが、外から見ているところでは、若手が育ってきており、彼らの今後の活躍に期待したい。

#### (4) 新横浜 RC

港北区の新横浜に事務所と例会場がある新横浜 RC が、何故第4Gではなく、第5北Gなのか不思議に思っていたが、クラブの所在地域は、横浜市緑区、青葉区および都筑区の一部とのことであり、港北区は含まれていない。第5北Gで納得である。そのためかクラブ自

身による地域への奉仕というのは見当たらず、IAC、LAC、青少年交換留学生など青少年奉仕に力を入れている。国際奉仕としての南アフリカプロジェクトは、形を変えながら、継続している。一昨年度は、レソト王国へ救急車を贈っている。

このクラブの例会のプログラムは、毎月1回移動例会や夜間例会を必ず設けている。その食事代1万円を、その都度徴収している。高齢者は出席免除を受けているから不満などないというが、私の訪れたときには、出席者が、40人の会員中、20人位の時が何度かあった。食事の廃棄食がでており、その減少のために欠席届提出者表彰などという制度を設けているが、結局は出席よりも親睦重視という姿勢できているようである。会長は、親睦活動の成果として会員が退会しないことに自信をもっており、また、会員が40人位が丁度適当な人数であるとし、偶々前年度年度初めに1人退会したが、その1人を補充すれば充分であるという考えであった。例会場は、横浜国際ホテルであり、第5北Gで唯一食事を一斉にとるクラブである。

週報に卓話の記載はなく、卓話は、動画で一般公開をしている。卓話者には、毎回一般公開していいか確認しているが、見ていると、何人か動画配信を断る人がいた。当クラブの会報も、ホームページで卓話を含めて一般公開しており、最近卓話者に確認しているか定かではないが、やはり、その都度の確認は、忘れてはならないことであろう。

会費、R財団、米山奨学金、移動例会、夜間例会等、第5北Gで会員の個人負担が1番多いクラブである。

#### (5) 横浜あざみ RC

女性を中心に会員14名で活動している。男性は3名であるが、その内、1名はソニー生命に勤めている。勤務場所は西区の横浜ランドマークタワーであり、同じ場所に勤めている人が、横浜緑 RC にもいる。地区内他のクラブにもソニー生命の社員は多く、クラブ会長を勤めた人もいる。この会社のシステムは、うわさによると個人事業主のようなものだとのことである。大樹生命さんが許してくれるなら、ソニー生命は入会勧誘の狙い目かもしれない。女性会員は、退会するとなると連れ立って退会することがあり、それが今日の減少を招いたようである。また、あざみ野は住

宅地で、都心や横浜の中心部に通う人はいるが、中々あざみ野の近辺で仕事をする人が見当たらないというのが会員増強が進まない理由でもある。しかし、中学校3校での職業を語る会、チャリティコンサート、古本の寄附、IAC、サンマを焼いての配布、青少年交換留学生、米山奨学生の受入れ等幅広く奉仕活動を展開しており、また有意義なテーマでの卓話のときは、一般に公開している。チャリティコンサートは、東北大地震の年に生まれた子が、大学卒業までの22年間の継続プロジェクトとのことである。いずれも会員全員の協力体制のもと、全員が全力で取り組んでいる。財政的にも厳しいであろうし、体力的にも心配をしているが、楽しく皆で頑張っている。

例会場は、あざみ野駅から徒歩で10分から15分で行きは登り坂となる。テニスクラブの2階の集会場を使っており、1階にレストランがある。このレストランは、時々休業し、昨年3月私が初めて訪れた時は、営業しておらず、多分今年3月位から営業を再開した。2回食べたが、見たこともないような珍しい料理を出してくれ、結構おいしい。戦略委員会のアンケートによると、会員達はクラブの現況に満足しているとのことである。

#### (6) 横浜旭 RC

例会場は、二俣川駅から徒歩で5分から10分で、ビルの3階の会員企業の会議室である。エレベーターはないが、足腰は鍛えられる。食事はお弁当で、崎陽軒のシウマイ弁当が最大のごちそうである。シウマイ弁当を食べないと中毒症状がでるという人にとっては、最高の昼食である。会員27名の内、80歳代が4名で、70歳代が7名であろう。27名中、11名が70歳以上ということである。そのため、例会場設営は、残り16名の仕事となっている。

例会のプログラムは、会員卓話が多い。皆さん興味深い話題をお持ちの方々である。11月区民まつり、1月チャリティコンサート、3月ガンセミナーは、全員協力体制での活動となる。岡田さん親子に例会場をいつ迄もお世話になっていいのかとも思うが、今の財政状況だと他に求めるのは難しい。

折角の機会だから禁断の領域にも踏み込ませてもらう。多くのクラブは週報の予算が30万円位であるが、このクラブは100万円である。例会を完全に再現するということが長年きており、確かに、紙ベースで卓話までその

まま完全収録されているのは、このクラブだけである。他のクラブでは、ITの利用を取り入れて効率化をはかっており、今後CLPの問題として取り上げていいのかもしれない。

米山の寄附は若干目標を下回ったが、R財団の寄附は目標額を達成した。第5北グループで2クラブがベネファクターを出せなかったのに、30人弱の会員数でベネファクターを6人出したということは、すごいことである。

昨年度から災害対策基金も始まった。やはり最大の課題は会員増強であろう。昨年度第5北Gで瀬谷RCが実質3名増やしたが、当クラブがその分以上を食ってしまった。これは非常事態と思い、私もクラブへの加入をくどいてみたが、半年間考えさせてくれと延ばされた。情報集会で取り上げ、体験例会を実施しても、会員1人ひとりが会員増強に一生懸命にならないということは、当クラブも多くの会員が現状に満足しているのかもしれない。

#### 6) 結語

このようなガバナー補佐という貴重な経験をする機会を与えていただいたことを心から感謝する。

地区研修・協議会では、「ロータリーの変化と未来像—『ロータリーの奉仕の本質を求めて』というテーマで、第2650地区PG刀根莊兵衛氏の講演を聞き、地区大会では「ロータリーと共に」というテーマで、裏千家15代・前家元千玄室氏の講演を聞き、IMでは「脳を知って脳を活かす」というテーマで東京大学薬学部教授・池谷裕二氏の講演を聞き、横浜南陵RCの創立40周年記念式典では、おもちゃ博物館の北原輝久氏の講演が聞けた。いずれもさすがロータリーという顔ぶれであり、講演に釘づけにさせられた。そして、地区内大勢の方とお知り合いになれたことも、私の財産となるであろう。

このように楽しい思いをさせてもらいながら、横浜旭RCからは、助成金までいただいた。

横浜旭RCのご支援、ご協力を感謝し、この経験を今後の活動に活かしていきたい。

#### ■次週の卓話

7/31(水) 休会

8/7(水) 加納 浩平様

(横浜市教育委員会事務局指導部国際教育課担当係長)

週報担当 関口 友宏